

ごみ処理費用の負担のあり方に係る市民意見の詳細について

平成18年9月の廃棄物対策審議会の「ごみ処理費用の負担のあり方に係る中間とりまとめ」について募集した市民意見を内容別に分類した詳細は、以下のとおり。

* 募集概要

(1) 募集期間 平成18年10月1日から11月30日まで

募集締切りは当初11月30日としていたが、市民説明会を11月29日まで開催したことを考慮し、12月15日までに提出された意見を取りまとめた。

(2) 周知方法 市政だより10月号、市ホームページ、新聞広告等

(3) 提出方法 郵送、ファックス、電子メール、電話、直接持参等

(4) 意見数 143通(493件)

提出された143通の意見の各々を内容別に細分化し、493件に整理した意見のすべてを、内容面の重複にかかわらず、記載した。

1 有料化自体に関する意見(105件)

(1) 有料化の賛否について(66件)

資源として再利用できるものを市として収集せず、安易に有料化するのは早計。

ごみ減量の工夫の一環として有料化はやむを得ない。

有料化自体は賛成。

有料化に反対ということではないが、明らかでない部分が多い。責任ある体制を整えてからにすべき。

有料化に反対。

有料化そのものには基本的に賛成。

不法投棄された家庭ごみを市で引き取りもせず、無責任に市民に有料化を押し付けるのは反対。

家庭ごみは有料化すべきでない。

審議会での検討内容は妥当なもの。住民のモラル改善のため受益者負担を早期実行すべき。

ごみが減るというデータもあるようで、有料化はいいことだ。

有料化は増税なので反対。仙台は北九州・福岡・京都と比べて市民所得が低いのでそんな負担力はない。

市民一人ひとりに、ごみについて考えさせるために有料化は必要。

有料化には賛成。

有料化については賛成。

固定資産税も高いのに、ごみまで有料になってはたまらない。

ごみ有料化は適当と考える。

有料化は反対。ごみは生活していれば出るのが当たり前。

有料化については反対ではない。仕方がない。

有料化の動きは仕方がないと理解する。

目的から有料化はやむを得ない。

仙台市の財政を考えれば有料化は当然。

ごみ処理費用は受益者負担が当然。

時代の趨勢として有料化は原則としてやむを得ない。

有料ごみ袋はいいアイデアだと思う。

善意で地域を清掃している人を無視し負担を強いるやり方には反対。

基本的には排出量に応じた負担をすることは賛成。

ごみ袋の値上げは百年の杜計画と矛盾する。

過去の政策の失敗によるツケを市民に転嫁しないでほしい。

ごみ有料化に反対する。

ごみ収集は税金でまかなうべきである。

有料化の前に策はないのか。有料化は最終決断であるべき。

市の施設で分別回収が徹底されていないのに、誰が家庭ごみなどの有料化に協力するのか。

家庭から出るごみの有料化は納得できる。

とりやすいところからとるのはよくない。ほかの方法を検討するべき。

ごみ袋有料化に反対。

有料化には大賛成。最終処分場のことなども考えれば、次の世代やその先のことを考えて実施すべき。
有料化反対。ごみ処理費用が足りないなら足りるようにすべき。
ごみ処理費用の有料化に反対。もう一度ごみ減量に徹底的に取り組んでからでも遅くない。
負担が増えるのは反対。
ごみ処理費用を安易に排出者に課すことに疑問を感じる。有料化する前にとるべき施策や努力はいくらでもある。
ごみ処理に多額の費用がかかっている現状とごみ減量を進めるためには有料化もやむを得ない。
適正処理に反する事態を引き起こし、市民に新たな負担を課す有料化は採らないこと。
ごみ処理有料化に反対である。
有料化には反対。
有料化に反対。
有料化には賛成だ。
リサイクルし尽くして、どうしようもなくなってから有料化すべき。
有料化の検討を否定はしないが、現在検討されている程度の施策内容で有料化に踏み切るとは反対。
有料化に反対。年金生活者にどうやって暮らせというのか。
「中間とりまとめ」にある説明からは、有料化には反対である。
有料化の導入についてはやむを得ない。
有料化には賛成。
有料化は反対。
ごみ減量についてあらゆる手だてを講じた上で有料化というなら説得力がある。
ごみ処理費用は税でまかなうべき。
有料化のような場当たりの問題解決ではなく、ごみ減量の取り組みを市全体でがんばればよいと思う。
有料化についてはやむを得ない面があるのは理解できる。
皆で知恵を出し合って解決すべき。安易な値上げはすべきではない。
受益者負担の考え方自体は理解できるが、制度導入まではまだ優先して取り組むべき課題がある。
有料化については反対。ごみ削減を図ってから本当に有料化しなくてはならないか考えてほしい。
町内会への説明もなく、有料化することに反対。
有料化に反対。
有料化には反対。時期尚早。
ごみの有料化は市民のことを考えていない。
ごみ処理に多額の費用を要しているところから、有料化は当然。
有料化反対。

(2) 有料化検討の経緯に関すること(4件)

他都市でもやっているというのは理由にならない。
国の基本方針の改正や他市町村の状況など持ち出さず、市は市で自信をもって有料化を進めればよい。
松森工場の維持のために費用がかかるということで、市民からお金をとるのか。
国の基本方針を有料化の理由にするのは責任転嫁である。

(3) 有料化の目的に関すること(35件)

ごみの発生・排出抑制とリサイクルの一層の推進について(10件)

ごみ減量・リサイクルを一層進めるには意識改革が重要であり、有料化で解決はできるとは思えない。
有料化はごみの発生・排出抑制にならない。買物をした以上ごみは必ず出るもの。
有料化を行ってもスーパーで売られているものの包装を見直さない限りプラスチックごみは減らない。
経済的インセンティブでどの程度ごみ抑制や分別が可能かよくわからない。
有料化の効果は一時的。最終的には環境が悪化し家計支出が増えるだけ。
有料化すれば買物袋でごみが出せなくなるのでごみが増える。
大多数の市民は排出ルールを守り適正にごみ処理している。有料化による減量化は効果が期待できない。
既にあらゆる取り組みを実施しており、これ以上の減量は困難という世帯では、有料化による新たな減量効果は期待できない。
有料化による減量効果を具体的に示すべき。
有料化によるごみ減量の数値目標を明示すべき。

費用負担の適正化について(20件)

今も袋を有料で買わせ、更に処理費用まで負担させるのはおかしい。
税の二重取りになる。

新たな施策の予算は無駄な公共事業を削ってまかなうべき。市民に負担ばかり押し付けたくないでほしい。

これ以上の負担は貧困層にとって耐えられない。

ごみの排出量によって処理費用の負担をすることは更なる負担を市民に押し付けるものではないか。

市民負担が大きい。ごみ処理費用の負担を市民にばかり押し付けようという印象を受ける。

ごみの増加は過剰包装が原因。消費者に負担させるのはひどい。

ごみの収集のような日々の暮らしのために税金を使ってほしい。

受益者負担の意味がわからない。

低所得者にこれ以上負担をかけてほしくない。

市民に負担を押し付けるだけでなく、行政は市民の立場になって考えてほしい。

ごみ処理は公共サービスの最たるもの。「受益者負担」という考え方が当てはまるのか。

税金の二重取りである。

何のために住民税を払っているのか。年金生活者には負担が大きい。有料になったら生活できなくなる。

マンションの集積所のコンテナに管理費用がかかっており、税金と袋で三重の負担になる。

生活ごみの処理に別の選択肢はない。そうした行政サービスの費用は税で負担されるべきだ。

形を変えた増税の感がある。

プラ製容器包装の処理費用は事業者が負担しており二重徴収である。

「受益者負担」とは「特別な利益を受ける者の負担」であり、誰もが排出する家庭ごみの処理は特別な利益ではない。

経済的弱者ほど厳しい負担になる。社会的弱者の目線で施策を行うべき。

その他の事項について(5件)

有料化の目的に無理がある。

有料化はごみ問題の根本的な解決にはならない。

短絡的にお金を徴収して解決しようとする姿勢には疑問を感じる。

有料化の目的があっていない。

ごみ処理にかかる経費を考えると有料化はわからないではないが、そういう部分を市民に説明したほうがよい。

2 有料化の具体的内容に関する意見(134件)

(1) 対象範囲に関する意見(10件)

プラ容器包装や缶・びん・ペットボトルの売却益を除いた上で費用負担するのであれば理解できる。

分別の努力が報われる方法にしてほしい。適当な人が得をしてはいけない。

缶・びん・ペットボトルも有料化されるのか。

リサイクルし尽くして残ったごみだけを有料化することにしてほしい。

「缶・びん・ペットボトル等」「プラ製容器包装」の有料化は、リサイクルの概念を弱めるため反対だ。

有料化するなら分別は不要。手数料で民間事業者に分別させるべき。

容器包装は事業者規制をかけた限り、有料化の対象に含めるべきでない。

「缶・びん」のいくつかは有価物であり、収集運搬費用がかかるというだけで有料化の対象にすべきでない。

缶・びん・ペットボトル等の処理費用はリサイクルが進むにつれて拡大している。有料化の対象とするのか早急に決定すべきだ。

リユース・リサイクルされる缶・びん・ペットボトル等が有料化の対象になっているのは理解できない。

(2) 手数料設定に関する意見(82件)

手数料の負担方法について(42件)

一定枚数のごみ袋を無料で配布し、それを上回る分のみ有料という仕組みではどうか。

ごみ処理費用の負担方法は市民税の均等割の増額が適当。

今のごみ袋にシールを貼って出せるようになればいい。

袋を使った有料化ではなく、住民税や介護保険料のように世帯員数に応じて徴収してはどうか。

今の指定袋にシールを貼るようにはできないのか。

指定袋制度で指定袋を購入せずにごみを出す人がいるのであれば不公平である。

マンションからのごみをコンテナボックスで出しているが、有料化されるとどうなるのか。

袋に税金をかけるのではなく、所帯に人数割りで金をかければいい。

既存の袋にシールを貼って排出するようにすればどうか。有料の袋を使うとごみになる。

受益者負担の手法を導入するなら、一定量以下無料制(ペナルティ制)が妥当。

有料化ではなく、税を上げればいい。

処理費用は目的税として税で徴収するなどの検討も必要ではないか。

指定袋の販売代金が正しく市に納入されるか疑問である。

現在指定袋以外の袋で排出している市民が有料袋を購入するか疑問。

ごみ処理費用のうち税で対応すべき額に見合う枚数の袋を無料で配布し、使い切れれば有料袋を買うという手法はどうか。

一定枚数を無料で各家庭に配布し、それを超えたら有料で購入する方式はどうか。

年間の所得によって負担額を変える仕組みではいかがか。

手数料に今までの袋価格を含んでいるかどうかが不明。販売ルートと併せて明確にすることが必要。

手数料に今までの袋価格を含んでいるかどうかが不明。販売ルートと併せて明確にすることが必要。

容積ではなく重量をベースとした有料化を検討したのか不明。

仙台市の住民は生活様式が多様であり、単純従量制による有料化は安易な方法だ。

繰り返し使えるポリバケツの方がより環境にやさしく合理的な収集システムであり、排出世帯も特定できるので不正排出防止にも役立つ。

現在も指定ごみ袋を購入してごみを排出している。ごみ袋の代金はどこにいったのか。

今売っている袋には処理費用は含まれていないのか。

以前購入した袋の残りがあがるが、有料化されれば捨てるしかないのか。使えない袋をどうするか考えてほしい。

袋を買いだめしているが、有料化したら使えなくなるのか。

有料化の際に余っている現在の袋はどうするのか。

有料化したら今のごみ袋はどうなるのか。

有料化されると今の袋は使えなくなるのか。

有料化されると今の袋は使えなくなるのか。

ごみ袋を自由化すれば、現在出回っている袋を有効利用でき余計な袋を製造する必要もなく、環境にやさしくなる。

現在の指定承認袋制度では袋料金に処理費用は上乗せされていないということをもっと周知すべき。

現在の袋では市に収入がないというのは意味がわからない。

捨てるものを入れるだけの袋による収集は、現状でも疑問。

有料化されれば今のごみ袋は使えなくなるのか。

実施前に買いだめしたごみ袋はどうするのか。

今でも有料化していたわけではなかったのか。

袋は結局ごみにしかならない。

残っている承認指定袋を、有料化後も使用させてほしい。

今の袋を大量に買い込んでいる。余った分は当然市で買い取るものと思ってよいのか。検討してほしい。

ごみ増量の原因は市販されている指定ごみ袋にある。

指定ごみ袋の年間消費枚数と金額を情報公開してほしい。

手数料の水準：家庭ごみ、プラスチック製容器包装について(28件)

手数料水準の根拠があいまい。

手数料が高すぎる。ごみは出るもので抑制にはならない。

受益者負担の負担割合が高い。年金生活者には負担が大きい。

不要な物、過剰包装は断る、買わない等の消費者意識の確立のため、プラは家庭ごみと同額でよい。

1枚50円は高額だ。

50円は高く感じる。

大袋一枚50円というのも大した負担ではない。

指定袋を1枚100円程度にする。

中間とりまとめにある手数料水準の3分の2くらいの費用水準でスタートし、推移や反応をみてはどうか。

50円は高すぎる。低所得者にはダメージが大きく生活が苦しくなる。

1回50円の負担は低所得者には無理。

家庭ごみの袋がプラスチックごみの倍の値段にするのはなぜか。

本当に費用として必要なら、45リットル袋一枚で146円でもいいと自分は思う。

手数料水準があいまい。ごみ処理費用は全額手数料にして税方式は全廃し、その分減税するほうが明確でわかりやすい。

プラごみが半額の根拠がわからない。

有料化に反対はしないがいきなり50円には抵抗感がある。10円程度から始めて効果を検証すべき。

リットル単位で手数料を設定しているが、ごみ排出量は重量で表されている。重量と容積の関係を示すべきだ。

他市町村の手数料水準は参考にならない。

安いプラ製容器包装の袋で家庭ごみが出されてしまわないか不安。プラの料金は家庭ごみと同額でよい。

大袋・中袋・小袋で料金が違うのは賛成。

処理コストの比較もなく他都市の例と同様に50円程度が適当との説明では、市民は判断しようがない。

減価償却が終わり今後ごみ処理コストが低減したら、ごみ袋は無料になるのか。

手数料設定の根拠が不透明。他都市を参考にしたというのは前例にならったにすぎず、根拠を明確に示す必要がある。

袋の製造・流通経費を除いた部分を袋の容量に比例させて手数料は設定すべき。

1袋50円は低所得者には負担が大きい。

袋の製造・流通経費を除いた部分を袋の容量に比例させて手数料は設定すべき。

他都市の事例を参考にしたとの説明は、市民負担を強いる制度の導入を検討するには安易。

家庭ごみを出すのにプラごみ袋で出せば半額で済んでしまう。

手数料の水準：指定袋の種類(大きさ)について(12件)

ひとり暮らしで家庭ごみはあまり出ない。小さい袋も作ってほしい。

ごみはあまり出さないで、現在の小袋より小さな袋を是非作ってほしい。

10リットル、5リットルの袋が必要。

小袋よりも小さい袋を検討してほしい。

プラスチック製容器包装や雑がみを分別すれば、現在の家庭ごみ用大袋は一月ためても一杯にならない。

袋の種類は大(100円)、中(70円)の2種類でよい。市民は知恵を出し、工夫して使うだろう。

小袋よりも小さい袋が必要。

現在の小袋よりも小さい、5リットル袋も用意してほしい。

排出量に応じた受益者負担なら、袋の種類は3種ではなくもっと細かくすべき。

45リットルの袋には口を縛った状態で正確に45リットル入らなければおかしい。

小袋より小さい袋はなくてよい。指定袋を上手に使う方法も提案してはどうか。

学生、単身赴任者など向けに、7.5リットルのミニ袋が必要。

(3) その他(42件)

地域清掃ごみ袋の取扱いについて(18件)

今までと違って高額になったごみ袋では、ボランティアで清掃している方の負担が増える。

地域清掃で集めたごみは今までどおり無料で収集してくれるのか。

住民の善意の行動に安易に期待しないでほしい。

路上のごみを善意で片付けている人は抵抗を感じるのではないか。

公園など公共施設の花壇などを手入れしたことで出るごみは無料にすべき。

通りに散乱しているごみの処理も個人で負担するのか。

街路樹の落葉の処理費用も市民に負担させるのか。まず現状を認識してほしい。

自主的に街路樹の落葉を掃除している人がいるが、その落葉はどうするつもりか。

道路・側溝・公園から出るごみ・落葉は市が責任を持って処理すべき。

落ち葉や刈り取った芝も有料で処分することになるのか。

街路樹の落葉の処理も住民が負担するのだとすれば、このままの有料化には抵抗がある。

近所の空き家の庭や自然林から飛散する落葉の処理費用が有料になるのは理不尽。別にすべき。

他人の敷地からの落葉を処理するごみ袋代まで負担するのは考えもの。

自宅前の公園や街路樹から出る落ち葉を処理しているが、有料化になったらどうなるのか。

街路樹の落ち葉をやむなく自宅で指定袋に入れているが、有料化されたらどうなるのか。

市は生垣に対する助成もしているが、庭木も有料化の対象か。そうであれば反対だ。

敷地内に吹き込んできた落葉等の処理費用まで負担させられるようでは、有料化には反対。

公園や街路樹からの落葉等の処理は市が負担すべき。

手数料収入の用途について(5件)

手数料の用途が不透明で納得できない。

収入はごみ処理費用にのみ充当し、他への流用はしないこと。

手数料収入はごみ排出削減につながる施策に使用し、それを明示することが必要。

手数料収入はごみ排出削減につながる施策に使用し、それを明示することが必要。

手数料収入の用途を具体的に示すべき。

その他の事項について(19件)

手数料収入により浮いた経費の分は、その他の諸経費に充てるのではなく税金の低減をしてほしい。

プラ製容器包装にもレジ袋を使えるようにしてほしい。

レジ袋収集は廃止する。
現在の承認レジ袋制度を続けてほしい。
レジ袋をうまく利用したほうが環境にやさしい。
レジ袋を有料にすべき。
今は認められているレジ袋での排出は認められなくなるのか。
有料化で浮いた予算はどうするのか。
承認レジ袋での排出禁止に反対する人が多いと思う。
有料化されたらごみ出しにレジ袋は使えなくなるのか。
レジ袋での排出は今から禁止すべきだ。有料化に向けて今からそういう準備をしてほしい。
有料化で浮いた税金は市民に還元すべき。
指定ごみ袋は無駄。レジ袋での排出をプラごみにも適用すべき。
カラス対策用の袋を開発し使用する必要がある。
買物袋での排出が多い現状では、買物袋に税金をかけ指定袋より高価にしなければ有料化になりえない。
市内のすべての小売店のレジ袋が有料化されるよう条例化を検討すべき。
手数料は住民税の減税財源とすべき。
今はレジ袋を使ってごみを出しているが、有料化になった場合は使えなくなるのか。ごみを出すため袋を買うのは資源の無駄である。
余った有料袋は市で買い戻してくれるのか。

3 有料化導入に併せて実施すべき施策に関する意見(114件)

(1) ごみの発生・排出抑制とリサイクル推進の充実策について(32件)

紙ごみの定期収集をしてほしい。
月2回以上の紙類回収が必要。有料化はその体制づくりの結果を見て検討すべき。
紙類の資源化をしやすい環境づくりも考えてほしい。
家庭ごみの日に出された古紙類の処理について十分に検討してほしい。
紙や段ボールが家庭ごみとして捨てられているが、市はこれをどう考えているのか。
有料化の導入検討に合わせて紙類などの資源回収について指導を強化することが不可欠だ。
資源回収を町内会任せにしていること自体が問題。
紙類の週1回収を実施すればもっと分別するはず。
家庭ごみを確実に減らすなら、有料化の前に紙ごみを回収すべき。
古紙や段ボールを家庭ごみに出す人が多くいる。高齢者は回収庫に持って行くのも大変なので、誰かが回収してくれるといい。
紙類の回収は有料化と関係なく先行して実施すべき。それだけでごみ減量は達成できる。
古紙の回収頻度が月1回程度では足りない。町内会ごとに回収庫を設置してはどうか。
紙類回収の仕組みが改善されることを期待する。
古紙のリサイクルの仕組みができていない。古紙類を貯めていても家庭ごみとして出さざるを得ないこともある。
町内の廃棄物回収拠点に紙類回収庫を設置するよう検討してほしい。
紙類を定期回収すべき。
集団資源回収や拠点回収のほかにも市が分別収集を行い、紙ごみ削減をより進めることが必要。
集団資源回収や拠点回収のほかにも市が分別収集を行い、紙ごみ削減をより進めることが必要。
紙類を回収する工夫をすべき。
紙類のごみ減量化とリサイクル推進の効果的手段である集団資源回収の強力な推進を図るべき。
子供会を活性化させる工夫をすべき。
生ごみをうまく処理するとごみの量も減る。
生ごみの減量が難しいので、市で生ごみ減量のための勉強会の開催を考えてほしい。
子供会でできなければ老人会での集団資源回収を促進すべき。
生ごみは市で回収して堆肥化すればいい。
生ごみのリサイクルを進めるべき。
市民全体が参加できる、ごみ分別・リサイクル、環境問題に関する勉強会を開催してほしい。
ごみを削減しなければならない理由、環境問題と有料化との関わりなど、根本的な意味の市民への伝達に一層の努力と工夫を期待する。
町内会単位での生ごみ堆肥化など、地域での削減の取り組みを促進する仕組みづくりが必要。
町内会単位での生ごみ堆肥化など、地域での削減の取り組みを促進する仕組みづくりが必要。

町内会単位での生ごみ堆肥化など、地域での削減の取り組みを促進する仕組みづくりが必要。

他都市の例を見習って市民や子供たちをきちんと指導すれば、リサイクルは一層進む。

(2) 不法投棄・不適正排出対策について(58件)

ごみ集積所に取り残される不適正排出物はどうなるのか。

指定ごみ袋に入れずにごみ出す人が相当出ると予想される。対策を検討してほしい。

現在でも集積所には不法投棄・不適正排出が多く、近隣住民の不満を買っている。

指定されたごみ袋以外で出された不適正排出物の処理について十分に検討してほしい。

アパートの住人は排出マナーが悪いので、対応策をよく考えてほしい。

マンションなどではごみの排出ルールが守られていない。そうしたものは有料化された時にどうするのか。

不適正排出の対策はどうするのか。市民任せではいけない。

現在でもマナーに反するごみ出しの問題があるのに、有料化されればさらに問題が顕発するのは必定だ。

近くに集積所があるが、わけのわからないものが捨てられている。市は実態を見ていない。

アパートから出されるごみはろくに分別されていない。アパート経営者への働きかけならできらるだろう。

このまま有料化を導入すれば相当な混乱が予想される。不適正排出が横行し集積所周辺の住民だけが迷惑を被る。

粗大ごみを有料化したら不法投棄が増えた。家庭ごみも有料化したら、生ごみで街が汚くなる。

若い人は決められた袋で出さないのではないかと。

小規模事業者が家庭ごみと一緒に営業ごみを出しているのは問題。

アパート等へのごみ集積所設置と、アパート等の持ち主・管理人に集積所管理を義務づけるべき。

買物袋で排出されたごみはどうするのか。

向かいの地区はマンション・アパートが連立していて、ごみ等がきちんと出されているか疑問。

集積所の不適正排出の元凶となっている町内会非加入者への指導を徹底すべき。

有料化すれば、ごみ集積所のルール違反の排出が増えていくに違いない。

不法投棄した者の罰則を条例化し、罰金は処理費用に充てるのがよい。

有料化すれば不法投棄が増える。不法投棄や不正リサイクル業者の取り締まり強化が先決ではないか。

不法投棄対策とは、具体的にはどのような対策を考えているのか。集積所の統合などいろいろ考えてほしい。

コンビニのごみ箱などへの不法投棄が増えることは目に見えている。

不法投棄が増えるだけだ。

ごみ減量についてまだ意識の低い市民がたくさんいる。不法投棄の増加が心配される。

夜間交通量の多い道路に街灯もつけず絶好の不法投棄場所としている行政の対応は問題。

不法投棄が増え、その処理に税金が使われるのは許せない。

コンビニのごみ箱にごみが溢れるのではないかと。不法投棄が増えないか。

大型店の地域住民への社会的責任として、自店で販売した商品の包装の回収や周辺の清掃を条例で義務づけてはどうか。

現状でもルールを守らない人が多くいて、大人がそれでは子供の教育にもよくない。

環境の悪化が心配。

自家焼却やトラブルが増えるのではないかと。こういったことについても検討を希望する。

ごみを集積所に置かずにどこにでも置くようになる。街の美観のためにも問題。

有料化すれば不法投棄が増える。その後始末は最終的には税金が使われる。

有料化すればごみ処理についての住民トラブルが増える。

有料化されれば粗大ごみの山がさらに増え、その回収費用のほうが高くなるのは明らか。

不法投棄対策に監視カメラを設置すると言うが、問題点が容易に考えられ誠実な回答とは思えない。

有料化は不法投棄を促す。

手数料を不法投棄対策に充てるというが不可能。現状でも不法投棄がされている。

コンビニ等に捨てられたごみの料金はどうなのか。

不法投棄が増える。

今の日本人のモラルでは不法投棄が増えるだけ。

ポイ捨ての増加が予想され、汚い街になる。

不法投棄が増える。

不法投棄を助長する。有料化によって不法投棄対策に今以上に経費がかかるのは、行革に逆行する。

地域でルール違反の排出がされないように相互監視する制度が必要だ。

徹底的に不法投棄の規制を強化する覚悟が必要。具体的対策が不明なまま善意の個人に負担させるべきではない。

罰則規定の制定など有効な不法投棄・不適正排出対策の実施が必要。

有料化したら不法投棄が増えるのではないか。

不法投棄・不適正排出対策は、現在の延長上のものでは効果は期待できない。抜本的な対策を検討すべき。

既実施自治体などの実態を調査し、近隣自治体への影響なども確認のうえ、有効な不法投棄対策を検討すべき。

不法投棄・不適正排出をなくす取り組みが必要。

不法投棄・不適正排出をなくす取り組みが必要。

不法投棄・不適正排出が心配。地域とのきめ細やかな連携が大事になる。

市民の意識改革に取り組みないと、不法投棄・不適正排出が増加する。

ごみやその処理費用が減っても、反面で不法投棄が増え、町内会が負担させられるようでは困る。もっと検討・議論してほしい。

有料化に関わらず、不法投棄・不適正排出対策の徹底を図るべき。

有料化は不法投棄を助長させる。

(3) その他の事項について(24件)

経済弱者へのしかるべき配慮が必要。

剪定した庭木を月1回程度収集してほしい。

庭木の剪定枝は資源ごみとして家庭ごみとは別枠で考えてほしい。

高齢者・非課税世帯・紙おむつ使用者のいる世帯への配慮が必要。

緑化推進に協力しているのに、庭木の剪定枝まで有料化の対象になるのはどうか。

ごみを出さざるを得ない生活弱者がいる。

有料化は緑化に逆行する。

高齢者・乳幼児がいる世帯、低所得者への配慮が必要。

高齢者・乳幼児がいる世帯、低所得者への配慮が必要。

社会的弱者に対する配慮が検討されるべきだ。

一方で緑化運動を推進しながら、他方で剪定枝の処理を有料化するのは矛盾している。

有料化するのであれば、これまでの集積所での収集では不法投棄の温床となるため反対。戸別収集への切り替えが必要だ。

手数料が高くなっても各家の前から収集するのはどうか。

できれば戸別収集にする。

今の集積所収集には不法投棄など問題が多い。戸別収集がよい。

有料化に際しては戸別収集の実施を是非検討してほしい。

各戸収集を実施すべき。

現在の集積所方式で有料化を行えば不法投棄が増えると思われるので、戸別収集に切り替えるべき。

各戸回収方法を導入すべき。戸別回収を希望者登録制にすることもよい。

どの大きさの袋も公平に入手できるようにすべき。また、疑問の生じないような販売方法、手数料の徴収方法が求められる。

ごみ減量・リサイクルの運動強化や企業側との協力など、ごみが出た後よりも出る前の対策を検討すべき。

電気式生ごみ処理機の補助額を40,000円まで引き上げるべき。

有料化に当たって、目的実現のためのライフスタイルの提案など、市民にもう一段のサポートをしてはどうか。

手数料収入でクリーン仙台推進員の永年勤続表彰を行うべきとの意見が説明会であったが、やめるべき。

4 その他の意見(140件)

(1) 本市のごみ処理の現状に関する意見(24件)

分別ルールが分かりづらいので、ごみ集積所での現地講習会や小学校等での教育など工夫してはいかかが。もっとリサイクルをしやすい方法を考えてほしい。

市政だより10月号の記載について、粗大ごみ・事業ごみの手数料収入がどの程度あるかも示した方がよい。

分別をもう少し細かくして3Rを推進したほうが良い。

ごみ処理に要するコストについては明確に示してほしい。

生活ごみの排出量は現状維持が続いている。ごみ処理費用の負担縮小のため、更なる排出削減の努力が必要。

クリーン仙台推進員の意識が低い。若い人を積極的に選出してほしい。

政令市間でのごみ処理費用を比較し明示すべき。

市ではごみを減らすことをもっと積極的に考えるべき。

集団資源回収など知らないがどうすればいいのか。再生利用できるものは収集しないようにすればいいのでは。ごみ処理費用が赤字になるならむやみに分別を厳密にしても無意味だ。

値上げで解決するのではなく、もっとリサイクルを考えるべき。

市のごみ減量に対する努力が足りない。どうすればごみが減るか真剣に考えていない。

クリーン仙台推進員の活動が見えない。推進員を中心に町内のみんなで取り組みばごみ減量は可能。

無料の今でもモラルの低さに悩んでいる。

わかりやすい広報をお願いしたい。回覧板や掲示板で呼びかけることが有効と思う。

資源ごみをもっとリサイクルして費用を削減すべき。

同規模都市・近隣都市とのコスト比較情報の開示を求める。

ワケルくんのパンフレットなども利用されなければごみになる。それよりもごみ処理場を見せるのが一番よい。

指定ごみ袋に入れていないプラごみの取り置きは無駄。

ごみ減量の取り組みを新しい住人に浸透させる方法を考えるべき。

ごみ減量化対策を十分に検討せずに、有料化だけで減量を推進するのは限界がある。

ごみを減らし処理費用を削減するのが先決で、そのためにはリデュース推進が最優先であることを市民にもっと理解してもらうよう努めるべき。

有料化する前にごみ減量、ごみ出しルールを遵守させることが必要。

(2) 有料化検討の進め方に関する意見(28件)

意見募集の体制・周知方法について(13件)

有料化の実施前に町内会ごとに説明会を開催し協力を求めるべき。

市民意見を募集するのに細かいところが決まっていけないのはおかしい。先に決めておくべきだ。

市はごみ収集の今後のあるべき姿や市の厳しい現実を示した上で市民に意見を聞き、有料化の内容を検討すべき。

今回の有料化導入に向けての取り組みはあまりにもずさん。

市民に対して説明が少なすぎる。

マスコミをうまく使って、有料化の理解が高まるようにすべきだ。

手数料水準をどうするかなどの具体的な話は地域の実態を踏まえ、抜本策を議論してからでよい。

全市民に関係することなので、市民周知にできる限りがんばってほしい。

意見を聞くだけでなく、市民の目線で検討し市民の納得を得てほしい。

市民意見とその対応策を広く市民に周知すべき。

多くの消費者の意見も聞かずに実施することに納得できない。

町内会まで話が伝わっていない。

都合の良い情報だけを市民に提示するべきではない。

仙台市廃棄物対策審議会について(6件)

多くの市民が納得できる案となるようにしてほしい。

審議会の委員はもう少し現実を知ってから議論してほしい。

検討過程をもっと市民に広く周知すべき。

審議会の議論が雑ばく。市民の代表として広範な議論をする意識に欠ける。

審議会は市民意見を十分反映させた施策が講じられることを確認し答申すべき。

審議会は市民意見を十分反映させた施策が講じられることを確認し答申すべき。

「中間とりまとめ」市民説明会について(9件)

説明会はいつからか。どうすれば参加できるか。

説明会はいつか。

身体障害者であるため説明会に参加できないが、どうすればいいか。

町内会にパンフレットを配布して、回覧してもらったほうがよかったのではないか。

具体策は今後検討との回答が多いが、もっと市民の疑問に対する解決策を用意しておくべき。

説明会の参加人数は何人なのか。有料化に賛成する人は本当にいるのか。

説明会の開催は広く市民に呼びかける、また町内会など小さな区割りで行うべき。

市民に対する説明と意見の集約はきめ細かく行ってほしい。

有料化導入についてクリーン仙台推進員への説明会を開催すべき。

(3) 事業者責任に関する意見(29件)

分別しにくい包装品が多く、容器の利用事業者への指導が必要。

新聞に入っているチラシやジュースの缶はごみになる。ごみ減量のために市から事業者に働きかけを。

市民がいくらごみを減らそうとしてもゼロにはならない。メーカーも負担するよう働きかけはしないのか。

製造・販売者にもごみ減量の取り組みを進めてほしい。

過剰包装をなくす、ごみとなっても処理しやすいものを開発してもらうなど、企業側に働きかける案はないか。

普通の生活者はごみを出したくて出しているのではない。ごみ処理の財源がないのなら、生産者に課税して処理費用に充てるべき。

メーカーや小売業者の量り売りに取り組むべき。

スーパー等で食料品を買う時についてくるトレーは不要なので、市からメーカーになくすよう伝えてはどうか。

製品を作っている業者に何か負担をしてもらおうということはできないか。

ごみのもとになるものをつくっている企業を指導すべき。

プラごみの大半はメーカーの過剰包装による。消費者負担では減らない。企業への協力は求めているのか。

製造者にもごみを減らす努力をさせないのはおかしい。

ごみ問題を資源管理の問題として捉え直し、「拡大生産者責任制」に近づけること。

事業者への働きかけはしていないのか。

発泡スチロール製のトレー以外の容器包装は店で引き取ってもらえないので、市から働きかけてほしい。

ごみ減量を進めるのなら、ごみ発生源である事業所への働きかけを強化するのが先決。

なんでも包装されてくることを思うと、企業の責任も大きいのではないか。前よりもひどくなっていると感じる。

売ればいいという業者の無責任が目立つ。利益を上げている人に負担させる方策を国を挙げて考えるべき。

生産者、販売者も受益者であり処理費用を負担すべき。せめて販売者までの費用負担を検討できないか。

個人が出すごみなので責任の一端は負わねばいけないが、企業側にも協力を求めることが絶対に必要。

商品販売者の生産者責任についても言及すべき。

ごみ処理費用を生産者負担とすることでそのコストを商品価格に含ませ、購買抑制、リデュースにつなげるような社会的システムの構築に、自治体としても論議すべきだ。

レジ袋をなくすような働きかけを行政からスーパー等に行ってほしい。

ごみの発生には製品の製造者、販売者にも責任がある。事業者のごみ排出削減努力を促すことが必要。

ごみの発生には製品の製造者、販売者にも責任がある。事業者のごみ排出削減努力を促すことが必要。

ごみの発生には製品の製造者、販売者にも責任がある。事業者のごみ排出削減努力を促すことが必要。

市民に負担を強いる前に、商品を売る企業に簡易包装の訴えなどを働きかけるべき。

課税自主権を行使するなど、事業者にも負担を求めることも検討すべき。

ごみ問題は商品の供給形態等によって構造的になっている。消費者の一方的責任とはいえない。

(4) その他(59件)

今後の検討スケジュールについて(9件)

有料化はいつから実施か。

袋を買いだめして無駄にはしたくないが、有料化はいつからか。

来年(平成19年)4月から有料化になるのか。

有料化はいつからか。

有料化は平成19年度中に実施されるのか。

来年度からというのは急すぎる。

有料化を検討しているそうだが、いつから実施するのか。

有料化はいつからか。

現在の指定ごみ袋での排出が使用できなくなるのなら、実施に際しては6ヶ月～1年程度の十分な周知期間を設けるべき。

その他の事項について(50件)

地下鉄東西線など一部の人にだけ有益な事業の見直しが必要。

自宅でごみを焼却できるとよい。

原油高騰の折、ごみ処理に使用する石油を政令市間で共同購入してはどうか。

減量だけでなく市がリサイクルの方策を研究することが先に検討されるべきではないか。

ごみ減量を実践できる方策に真剣に取り組んでほしい。

増税ばかりで予算が毎年同じなのはおかしい。見直しはしているのか。

仙台市はあちこちで税金を無駄遣いしている。

有料化が決まってからではなく、決まる前に意見を言いたい。

分別を徹底させるために、収集車がある時間に合わせてごみを出すようにしてはどうか。

公園の樹木の管理をきちんとすれば、ごみの減少につながる。

衣服のリサイクルに関して、一定の売り場面積を有する小売店に衣服リサイクルボックスを設置するなど、提案したい。

ダストボックスを町中に設置してほしい。

いつでも使える有料ダストボックスを住宅街に設置してはどうか。

仙台の人は、ごみを「投げる」という意識を変えないとだめだ。

仙台市に競輪場を作ればその収益でごみ問題は解決するのでは。
身体障害者で週2回ホームヘルプのサービスを利用しているが、収集の日と合わないため分別するのが難しい。
リサイクルに対して消極的な態度をとり続けた市に不信感がある。
市民に新たな負担を負わせるなら、過去の政策判断の誤りを謝罪すべき。
有料化は地方財政赤字の穴埋めに過ぎない。
景気がよくなればごみが増えるのは当たり前。景気がよいことはいいこととの前提がありながら3R運動は矛盾している。
ごみ処理のために財源が必要ならごみ対策費を全国一律に盛り込むべき。
ごみ処理をすべて行政で処理するのではなく、NPOを参加させるのも一案だ。
ごみを燃やしたときの熱をエネルギーとして供給すべき。
お金さえ出せば何でも捨ててよいという考えを助長する。
デポジット制を導入する。
路上にヨーロッパ並みの資源ごみ回収ボックスを設置すべき。
有料化になれば自分自身も、協力するのに腰が引ける。
ビラやチラシが毎日大量に郵便受けに入れられている。有料化の前に配布を規制せよ。
不要な容器包装を買ったときに店に捨てていく人が増えるのではないか。
ペットボトルも統一規格で製造し洗浄して再利用すべき。
ごみ処理費用を確保したいなら高すぎる市職員の給与を削るべき。
市が行っている唯一の市民共通の仕事であるごみ処理をしないなら、税金をとる資格はない。
地方自治体初のデポジット制を導入すべき。
リターナブルびんに財政的支援をすべき。
家庭ごみ収集車に資源物を積載できるようにすべき。
デポジット制を検討してほしい。
ごみに限らず、地域の組織力を高めないと何をやっても無駄である。
地下鉄東西線の建設などをやめればごみ処理費用は十分まかなえるはずだ。
コストの増加を有料化でまかなうと、将来的な値上げに歯止めがかからない。
国の有料化方針にならってというのではなく、市独自の方法で市民にとってよりよい対策を立ててほしい。
今後ごみは少子高齢化で減少していく。
市の施設での分別が徹底されていないなど、市のごみ減量・リサイクルの意識はまだ希薄だ。
生ごみを無料で収集して、例えばメタン発酵で発電に活用するなどの取り組みを進めてはどうか。
デポジット制度を導入すべき。仙台市だけでは実現できないが、国に意見を述べることは必要だ。
有料化を検討する前に財政の無駄遣いを見直すべき。
市税の全体の枠組みがどのように使われているのか削減されているのかははっきりさせるべき。
有料化が当然と言う前に、各地のごみ減量の取り組みの周知と市民が考えたり取り組んだりするチャンスを与えるべき。
地下鉄東西線建設に多額の投資をする仙台市がごみ処理手数料の負担を強いるのは、市民感情として納得しがたい。
有料化されれば、市は職員を増やすのだから人件費が多額になり、今よりもっと悪い方向に行く。
家庭ごみと事業ごみは厳密に区別する必要がある。